

内因性テストステロン産生を促す塗付剤 AQ Endo-Test の開発

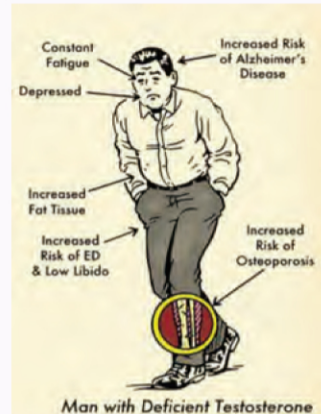
大内 和幸¹⁾、Sadaf Qadir²⁾、Ahmed Al-Qahtani^{1,2)}

AQ スキンソリューションズジャパン株式会社¹⁾、AQ Therapeutics Inc.²⁾

はじめに

テストステロンは、男性・女性ともに35歳を過ぎると徐々に低下する。加齢にともなうテストステロンの減少は、肥満、骨密度の低下、気力低下、うつ、慢性疲労、性欲減退、性機能の低下、筋肉の減少、筋力の低下を招く。テストステロンの減少は個人差が大きく、健康と QOL に差が生じる。

<https://www.artofmanliness.com/articles/testosterone-benefits/>

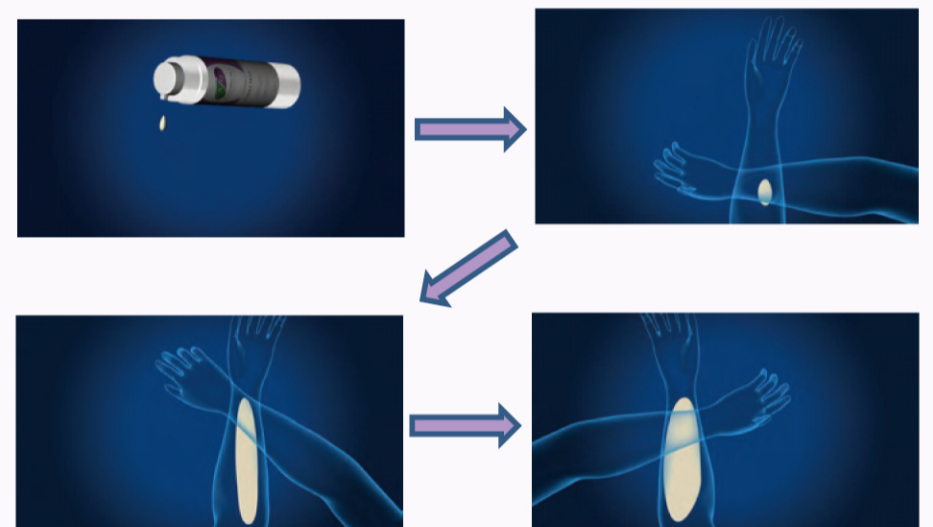


目的

内因性テストステロンの産生を促すシグナルペプチドを含む AQ Endo-Test の血中テストステロン濃度への影響を調べる。

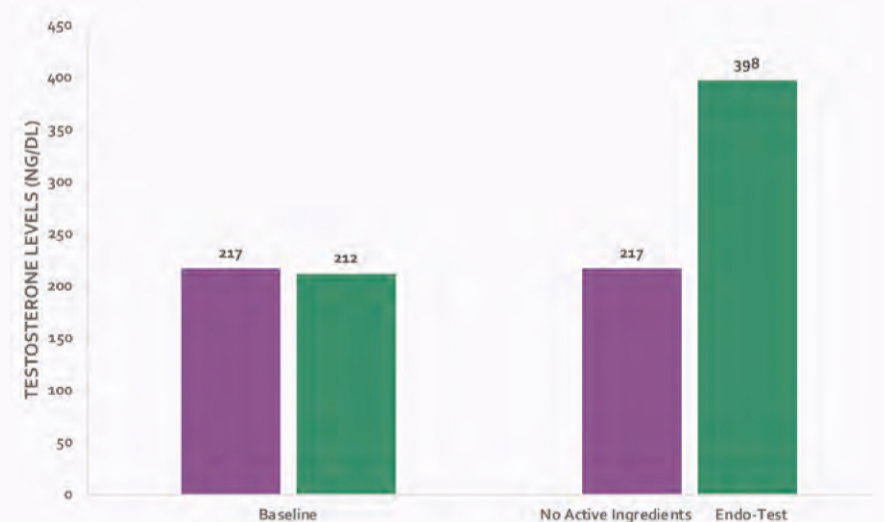
方法

96名の男性（血中テストステロン濃度の平均値 217 ng/dl）を対象に二重盲検比較試験を実施した。AQ Endo-Test を左前腕に 1 mL 取り、右前腕内側をこすり合わせてクリームを左前腕の内側全体に伸ばした。次いで、右前腕内側にも 1 mL 取り、左前腕内側をこすり合わせてクリームを伸ばした。塗付は毎日一回行い、3ヶ月続けた。



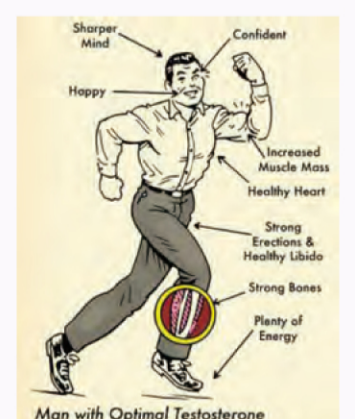
結果

3ヶ月使用後、対照群では血中テストステロン濃度に変化は見られなかったが、AQ Endo-Test 使用群では平均 398 ng/dl に増加した。

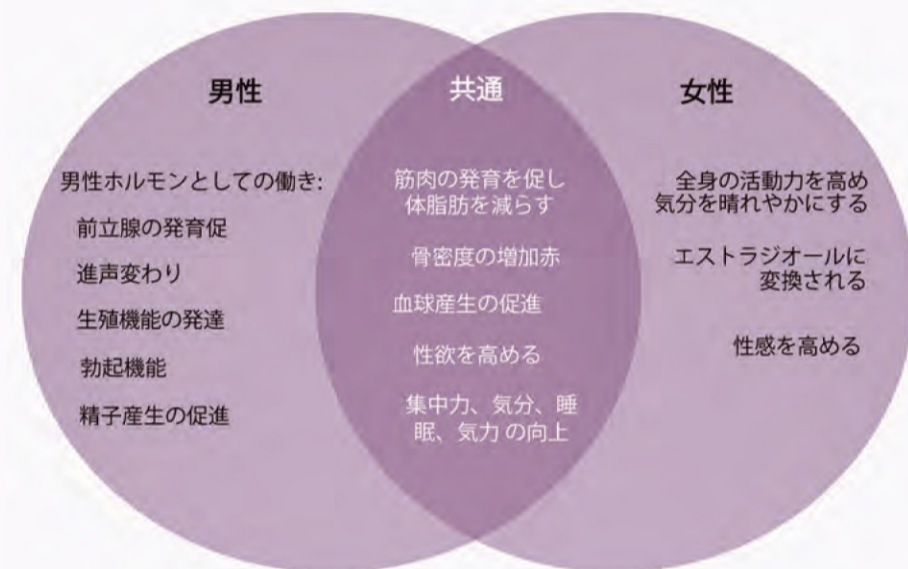


まとめ

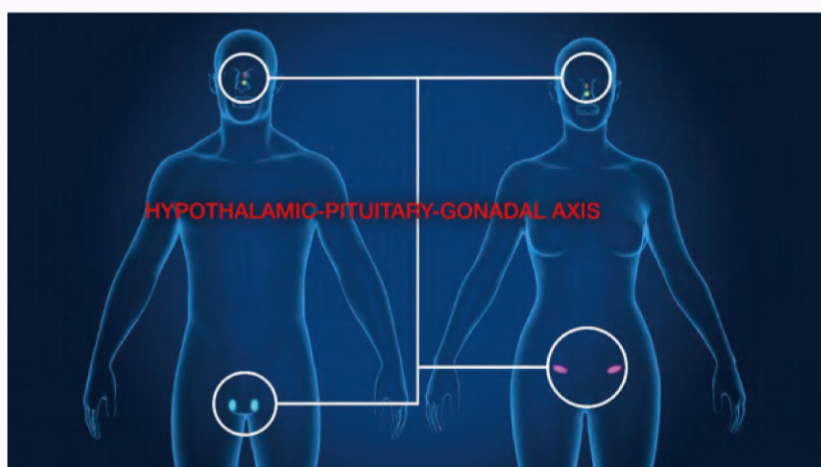
AQ Endo-Test のシグナルペプチドは視床下部 - 下垂体 - 性腺軸に働きかけ内因性テストステロン産生の促進に有効であることが示された。テストステロンの減少を抑えることが期待され、健康と QOL の維持に有効であると考えられる。



<https://www.artofmanliness.com/articles/testosterone-benefits/>



テストステロンの分泌は視床下部 - 下垂体 - 性腺軸によってコントロールされている。自律神経系の機能低下（下垂体からの LH 分泌低下）や、精巣の機能低下（Leidig 細胞の機能低下）、精神的なストレスなど複合的な要因によってテストステロンの低下が生じる。



視床下部 - 下垂体 - 性腺軸に働きかけるシグナルペプチドを含むクリームを開発した。このクリームはテストステロンを含まないためテストステロンの過剰摂取の恐れがなく、接触による他者へのテストステロン移行の心配もない。

内因性 VS 外因性

内因性テストステロン = 体内で産生される
 外因性テストステロン = 外部から投与される